

条 例 見 直 し 調 書

		作成年度	令和6年度	次回見直し予定	令和11年度
条 例 名	公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置等の基準等に関する条例				
条 例 番 号	昭和48年神奈川県条例第4号	法 規 集	第8編第6章第1節		
所 管 室 課	健康医療局生活衛生部生活衛生課				
条 例 の 概 要	公衆浴場法の規定に基づき、公衆浴場の設置の場所の配置の基準、衛生及び風紀に必要な措置の基準その他公衆浴場の営業の適正の確保に関し必要な事項を定めている。				
検 討	視 点	検 討 内 容			備 考
	必要性 （現在でも必要な条例か。）	公衆浴場法の規定により条例で定めることとされている公衆浴場の設置の場所の配置の基準、衛生及び風紀に必要な措置の基準について定めているものであり、また、許可申請の手数料も定めていることから、必要な条例である。			
	有効性 （現行の内容で課題が解決できるか。）	本条例で定める衛生管理の基準は、レジオネラ症対策等を講ずる等、衛生管理上の課題にも対応したものであり、有効なものである。			県所管域における公衆浴場数の推移 R5年度末 389施設 R4年度末 379施設 R3年度末 368施設
	効率性 （現行の内容で効率的といえるか。）	本条例で定める公衆浴場の設置の場所の配置の基準等は、いずれも明確かつ限定的であり、効率的なものである。 また、手数料の規定内容は明確であり、効率的である。			
	基本方針適合性 （県政の基本的な方針に適合しているか。）	本条例で定める事項は、公衆衛生の確保に資するものであり、「新かながわランドデザイン」の主要施策VI「危機管理・くらしの安心」の施策体系に適合している。			
	適法性 （憲法、法令に抵触しないか。）	本条例は、公衆浴場法等関係法令の規定に基づく内容となっており、憲法、法令に抵触しないものである。			
その他					
見 直 し 結 果	① 改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。	理 由 等 現行条例の運用上の課題は見受けられず、現時点では改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。			
	② 改正・廃止の必要はない。運用の改善等を検討する。				
	③ 改正を検討する。運用の改善等の必要はない。				
	④ 改正及び運用の改善等を検討する。				
	⑤ 廃止を検討する。				